

各位

株式会社 東北銀行

ケセンエナジー株式会社のメガソーラー事業に対する シンジケートローンの組成について

株式会社東北銀行（頭取 村上 尚登）は、株式会社三菱東京 UFJ 銀行（頭取 小山田 隆）と共同アレンジャーとなり、ケセンエナジー株式会社（代表取締役 篠村 浩二）が取り組むメガソーラー（大規模太陽光発電）事業向けのシンジケートローンを組成しました。

本プロジェクトは、住田町が総合戦略・総合計画で掲げる「自然エネルギーの有効活用による化石燃料使用量の削減」に沿った取組み、また住田町、大船渡市、陸前高田市の 3 市町が東日本大震災によって被災した都市を環境未来都市として復興することを目指す気仙広域環境未来都市計画に沿った取組みとなります。

事業の大きな特長は、地元企業からの出資や、住田町の町有地を賃借した地元密着の事業であること、太陽光パネルの架台の一部に地元産の気仙杉を原材料にした木製架台を採用していることです。なお木製架台を使った太陽光発電所は岩手県内初となり、地元への収益還元と地元林業振興に大きく貢献する事業となります。

シンジケートローンの特徴は東北電力管内において無制限・無補償の出力抑制の対象となる案件です。無制限・無補償の出力抑制の対象となる太陽光発電事業は、電力会社に本プロジェクトからの電力買取義務が課されていないことから事業リスクの評価が難しく、金融機関による融資が進んでいない状況でした。今回のシンジケートローンが組成できたポイントはシンジケートローンの組成実績が豊富な株式会社三菱東京 UFJ 銀行と協働し、①出力抑制保険の組成、②有力 EPC 事業者による信用補完と建設コストの削減、③最適化された事業計画の立案により、このような問題点を解決できた点にあります。

当行は、今後も震災からの復興を支援するとともに、地域活性化に向けた様々な取組みに対し積極的な支援を行い、「地域力の向上」に努めてまいります。

1. シンジケートローンの概要

- (1) 契約額 : 4.86 億円
- (2) 契約日 : 平成 28 年 9 月 27 日
- (3) 資金使途 : 太陽光発電所建設資金
- (4) アレンジャー : 東北銀行、三菱東京 UFJ 銀行

2. ケセンエナジー株式会社の概要

- (1) 役員 : 代表取締役 篠村 浩二 (AMIFA 株式会社 代表取締役)
取締役 恒石 隆顕 (株式会社 恒電社 代表取締役)
取締役 中田 純一 (株式会社 エンブルー 代表取締役)
- (2) 所在地 : 岩手県大船渡市赤崎町字亀井田 4 番地 1
- (3) 設立 : 平成 27 年 8 月
- (4) 資本金 : 60 百万円
- (5) 事業内容 : 再生可能エネルギーによる発電・売電、設置管理

3. 発電所の概要

- (1) 所在地 : 岩手県気仙郡住田町
- (2) 設備容量 : 発電出力 1,999kW、モジュール容量 2,858kW
- (3) 発電量 : 年間予想 3,120,434kW
(一般家庭約 900 世帯分の電力、CO₂削減量約 1,872t に相当)
- (4) EPC 事業者 : 株式会社 恒電社 (所在地: 埼玉県北足立郡伊奈町西小針 6 丁目 108)
AMIFA 株式会社 (所在地: 岩手県大船渡市赤崎町字亀井田 4 番地 1)
- (5) アドバイザー: 株式会社 エンブルー (所在地: 東京都千代田区三番町 5 番地 40)
- (6) 稼働時期 : 平成 28 年 12 月予定

【建設予定地の写真】



以上

【本件に関するお問い合わせ】

地域応援部 (担当: 鷹橋)

電話番号: 019-651-6161